

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 会計課
 担当名: 予算係
 内線: 2233

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B9	大宮警察署等統合庁舎建設費(4か年継続事業第4年次・国庫補助事業)		一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	大宮警察署等統合庁舎建設費(継続事業第4年次支出額)	
事業期間	平成26年度～平成29年度	根拠法令	警察法		宣言項目			
					分野施策	020410 防犯対策の推進と捜査活動の強化		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>老朽・狭あい化が著しく、耐震性が十分でない大宮警察署庁舎及び科学捜査研究所庁舎と警察本部内の鑑識課を移転統合した警察施設の整備を行う。</p> <p>県債充当及び変更に伴う財源更正 (1) 継続費分 県債62,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 継続費分 庁舎建設費(4か年継続事業第4年次分)</p> <p>イ 建設概要</p> <p>(ア) 所在地 : さいたま市大宮区北袋町1丁目地内</p> <p>(イ) 敷地面積: 11,000.15㎡(隣接道路拡幅予定分約1,000㎡含む)</p> <p>(ウ) 庁舎規模: 鉄骨鉄筋コンクリート造 7階 12,140.24㎡</p> <p>ウ 建設コンセプト</p> <p>(ア) 災害に強い庁舎: 代替災害対策本部スペース・給油施設・非常用発動発電機等の設置 最高度の耐震性(構造耐震指標0.9相当)を確保</p> <p>(イ) 長寿命化による低コスト庁舎: 目標耐用年数100年を想定した設計</p> <p>(ウ) 環境、省エネに配慮した庁舎: 地中熱利用システム・太陽光発電設備・雨水利用システムの設置</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 総事業費 9,072,968千円</p> <p>(ア) 平成24年度(9月補正) 用地取得 2,887,460千円</p> <p>(イ) 平成25年度 調査設計 136,672千円</p> <p>(ウ) 平成26～29年度 庁舎建設(旧庁舎解体含む) 5,910,374千円</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>県民サービスの向上と犯罪や災害における県民の安全・安心が一層強化されるとともに、災害時のリスク分散を図ることで県警察の災害対策機能の強化を進める。 また、首都圏の災害時のバックアップを担うに相応しい、さいたま新都心において国等の機関との災害活動の連携強化が図られ、県民の安全・安心を脅かす危機や災害にも対処できる体制が確保される。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>県債充当及び変更に伴う財源更正</p>					
2 事業主体及び負担区分 (国5/10・県5/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) 5 建設事業費 その他の建設事業費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金	県債				
決定額	0			62,000			△62,000	1,521,091
現計額	1,521,091	232,562	6,501	979,000			303,028	